

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)		財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
				国道 支出金	その他	一般 財源	
1	下水道事業一般管理 事務	R 4	47,668		41,140	6,528	下水道事業を推進するために適正な職員数を配置するとともに、下水道事業に係る消費税の申告事務を適切に処理した。
		R 3	54,260		46,661	7,599	
		増減	△ 6,592		△ 5,521	△ 1,071	
2	公共下水道事業公営 企業会計移行	R 4	0				公共下水道事業の公営企業法適用に向けた固定資産台帳の整備を行う予定であったが、令和5年度に更新する財務会計システムとデータ形式等を合わせ、一体的に実施することで効果的な業務運営を図れることから、次年度へ持ち越した。
		R 3	2,255		2,255		
		増減	△ 2,255		△ 2,255		
3	公共下水道維持管理 業務	R 4	28,633		28,194	439	快適な住環境の促進及び水質環境の保全を行うため、経済的・効果的な維持管理を行うことにより、下水道施設の長寿命化を図った。 (1)下水道マンホール内ポンプ所保守点検業務委託料 14箇所（一箇所） 1,342千円（77千円増） (2)下水道管路施設調査清掃業務委託料 2ブロック（1ブロック減） L=19,424.38m（452.39m増） 7,722千円（473千円減）
		R 3	41,675	5,929	29,685	6,061	
		増減	△ 13,042	△ 5,929	△ 1,491	△ 5,622	
4	石狩川流域下水道管 理業務	R 4	37,026		26,541	10,485	市内で排出される汚水を、終末処理場（石狩川流域下水道奈井江浄化センター）で広域処理することにより、住環境を向上させるとともに、維持管理の節減に努めた。 (1)共同負担分 2,806千円（106千円増） (2)水量負担分 34,220千円（900千円増）
		R 3	36,020		26,491	9,529	
		増減	1,006		50	956	
5	石狩川流域下水道工 事負担金	R 4	8,565		8,565		石狩川流域下水道工事負担金 (1)補助事業分 5,041千円（3,526千円増） (2)単独事業分 601千円（23千円減） (3)補助事務費 1,288千円（339千円増） (4)繰越明許費 0千円（167千円減） (5)道資本費負担分 1,635千円（63千円増）
		R 3	4,827		4,763	64	
		増減	3,738		3,802	△ 64	
6	下水道事業長期債償 還元金	R 4	314,728		133,068	181,660	公共下水道及び流域下水道整備に係る市債や、高資本費対策及び高金利対策借換債など、今まで借り入れた地方債の償還元金を、償還条件に基づき適正に償還した。
		R 3	331,743		131,873	199,870	
		増減	△ 17,015		1,195	△ 18,210	
7	下水道事業長期債償 還利子	R 4	31,351		11,838	19,513	公共下水道及び流域下水道整備に係る市債や、高資本費対策及び高金利対策借換債など、今まで借り入れた地方債の償還利子を、償還条件に基づき適正に償還した。
		R 3	38,328		13,102	25,226	
		増減	△ 6,977		△ 1,264	△ 5,713	
8	前年度繰上充用金	R 4	1,345			1,345	前年度決算における収支赤字分の財源として補填した。
		R 3	0				
		増減	1,345			1,345	
合 計		R 4	469,316		249,346	219,970	
		R 3	509,108	5,929	254,830	248,349	
		増減	△ 39,792	△ 5,929	△ 5,484	△ 28,379	

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	維持した	無	無	無	無	下水道事業の推進に努めていく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	令和6年4月からの公営企業会計の移行に向けて準備を進めていく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	適切な維持管理により、下水道施設の長寿命化を図るとともに、地方公営企業法の適用に向けた準備を進めていく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	排出された汚水を広域処理することにより、住環境の向上に努めていく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	汚水については広域処理が必要なため、北海道及び構成市町により工事費を負担し、管路及び処理施設の改築更新工事を実施していくことにより、安定した事業を行っていく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	償還条件に基づき、今まで借り入れた地方債の償還元金を適正に償還していく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	償還条件に基づき、今まで借り入れた地方債の償還利子を適正に償還していく。	継続
—	—	—	—	—	—	—	評価対象外

1. 必要性（市が実施しなければならない理由など）

高い・低い

2. 成果（市民福祉の向上は図られているかなど）

向上した・維持した・低下した

3. 要望（市民・団体等からの要望など）

有・無

4. 行財政改革の取組

(1)事務事業の休止・廃止など

有・無

(2)コスト削減など

有・無

(3)他の事業との統合や民間委託等

有・無

※総合判定（休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善）